みどりのかぜ

学校だより 令和5年5月1日号 草 津 市 立 笠 縫 小 学 校 Tel(077)562-0352 Fax(077)566-1195

こうくん じいく わきょう きんけ

| 校訓:自育(すすんで学ぶ方)・和協(仲よくつながる心)・勤倹(よく励む態度)

学校・保護者・地域で力を合わせ 子どもの自立に向けた成長を!

新年度が始まって3週間が過ぎ、学校や学級としての動きも落ち着いたものとなってきました。 教室を回っていると、初めは、休み時間に昨年度までの慣れ親しんだ友だちと廊下で過ごしている子どもたちが多かったのですが、最近は、新しい学級の仲間と過ごす姿が増えてきています。 また、新しい仲間との生き生きした学習の様子が見られることも嬉しく思います。1年生の子どもたちも、学校での生活に慣れてきた様子です。子どもたちが新しい場で自分の居場所をつくっていく姿に、子どもたちなりの順応力の高さを感じています。

さて、入学式の式辞で、「小学校は子どもの自立に向けて、自律心と共生する力を育むことに力点を置いて指導していきます。」と話しました。

子育て四訓

- ①乳児はしっかり肌を離すな
- ②幼児は肌を離せ、手を離すな
- ③少年は手を離せ、目を離すな
- ④青年は目を離せ、心を離すな

子育ての言葉の中には、「子育て四訓」という言葉があります。小学校は、子育ての中でも非常に長い時期を過ごす場所です。その中で特に大切になってくるのは「離さないこと=かけること」の成長に応じた切り替えと、「手離すこと」の大切さだと感じています。

1年生のように学校生活の基礎を築くまでは、まだまだ丁寧に「手をかける」ことも大切です。ただしすべてを親の手でするのではなく、「手をかけるニー緒に考えて

あげる、考え方を教えてあげる」ことで、自分で考えてできることを増やしていくことができます。できることが増え、手が離れれば、今度はしっかりと子どもたちに「目をかける」ことが大切です。小学校は友だちとの付き合いが増え、社会性が広がる時期です。この時期に手を離すことで活動範囲を広げていくことができます。ただし、放っておくのではなく、子どもたちの様子を遠くで見守り、成長を見届け、時には助言や手助けも必要です。そして、どんなに手が離れてきても「心をかける」ことは子どもたちの成長にとって欠かせません。「いつもあなたのことを応援しているよ。」など、大切にしてほしいことを伝えていくことが子どもの安心とやる気につながります。成長に応じて、手・目・心のかけ方を切り替えていくことで、子どもたちの自立に向けた自律心を育んでいきましょう。

そして、子育て四訓の中には、「親が手離すこと」の大切さも含まれています。手が離れていく中で、子どもたちに失敗はつきものです。しかし「転ばぬ先の杖」で、子どもが自ら解決しなければいけない問題にも手や口を出し過ぎてしまうと、子どもが自分自身で解決する力も身につきません。特に学校生活では、「行き違い」や「いさかい」は必ずと言っていいほど起こります。しかし、そうしたちょっとしたトラブルを乗り越えていくことで「共生する力」は養われていきます。失敗を恐れて何もさせないよりも、いろんなことを経験し、失敗を通して学び、成長できるよう、子どもの行いを温かく客観的な目で見守る「大人の子離れ」も意識する必要があるのではないでしょうか。学校・保護者・地域で力を合わせ。子どもの自立に向けた成長を見守っていきましょう。

学校ホームページで情報を発信していきます!

笠縫小学校のホームページでは、子どもたちの日々の活動の様子を紹介する「笠っ子日記」や学校だより、学年だよりなどの情報を掲載しています。そのため、働き方改革やSDGsの観点から、印刷物を減らし、学校だよりや学年だより、各種お便りは、今後はホームページ上に掲載し、学校連絡メールで掲載情報を発信していきますことをご了解ください。

※学校連絡メールが未登録の保護者・地域の皆様は、至急登録をお願いいたします。 閲覧できる環境(パソコンやスマートフォン等)がない場合は、学校までご連絡ください。 ※2学期以降、草津市内一斉に学校ホームページや学校連絡メールの形式が変わる予定です。 その際には改めて連絡いたします。



1025年4月27日(木) 8日会**下学師の代表が集まって(代表を**日会)





日々の閲覧人 数がカウント されます。

大型連休中のお願い

5月3日(水)~5月7日(日)は5連休になります。早寝・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、子どもたちの生活リズムが崩れないようご配慮いただき、連休明けにスムーズに登校できるようご協力をお願いします。